

世間は連休なのに・・・

「会社はそんなもの」というあきらめの姿勢は、私たちの目の前にある問題を、問題として認識できなくしてしまいます。



クラスの同窓会に、自分だけ出席できなかった・・・

まずは、同じJRの3社の年間休日数を見てみましょう。

JR 東日本 114 日
JR 東海 120 日
JR 西日本 119 日

今度は、他の大手企業の場合と比較してみましょう。(採用HPより)

NTT 西日本 120 日以上
九州電力 120 日以上
TOTO 123 日

JR 九州は、九州のリーディングカンパニーと言われていますが、「他の会社よりはまし」ではなく、労働環境の面でも、「名前負けしてはいけない」とは考えられませんか？

他の会社と比較してみましょう

世間は、ゴールデンウィークに突入しましたが、みなさんの勤務状況は、いかがでしょうか？
驚くことに、今年は10連休です。しかし、多くの方が「ウチらには関係ない」と無関心であるか、もしくは、特殊な勤務体上、反対に、世間の人々が働いているときには、きちんと休みがあるというところで、何も自分たちだけが損しているわけではないと、連休を世間並みに満喫できない現状を当たり前のこととして受け止めてしまっている、というのが私の印象です。
しかし、学生時代の友人や、遠隔地に住んでいる親戚や兄弟と久しぶりに会いたい、という方にとっては、年末年始やゴールデンウィーク期間こそ、休みが必要になってくると思います。
ところで、JR九州の年間休日は、現在110日です。これが多いのか少ないのかは、みなさんの捉え次第ですが、国労は、これを124日に増やすように、会社に対して要求しています。年間休日が増えることで、世間では当たり前となっている大型連休にも、休めるようになってきます。
勤務体系上、仕方がない。自分たちが何を言っても変わらない。このように、現状を安易に捉える姿勢が、言いたいことも言えない環境を作り出していることを忘れてはいけません。

休めないのが当たり前という現状



若い力

第 116 号
2019年 5月1日
発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号
ニッコーハイツ1003号
JR 092-2075
NTT092-483-1515